

『さっきゃま魂』

R5. 12. 12 第17号

発行人：校長 中山 末永

和太鼓から伝わる迫力と感動 ～瑞宝太鼓鑑賞会～

12月8日（金） 瑞宝太鼓鑑賞会を実施しました。これは「令和5年度文化芸術による子供育
成事業—ユニバーサル公演事業—」によるもので、瑞宝太鼓の関係者の方から直接お話をいた
さき実現したものです。

瑞宝太鼓の方々は、前日夕方に本校を訪れて会場を設営し、当日の午前中も入念にリハーサル
を行うなど、本番に向けて万全の準備をしてくださいました。体育館から聞こえてくるリハーサ
ルの音を聞きながら、子ども達も本番が待ち遠しくなったのでは・・・と思いました。

いよいよ、鑑賞会のスタート。体育館いっぱい響く和太鼓の音、床から伝わってくる振動が
体にも伝わり、その迫力に圧倒されました。また、演奏の合間にあったメンバーの方々の自己紹
介からも、「障害を乗り越え力強く生きている」ことが伝わり、その強い思いは子ども達の心にも
しっかり届いたと思うと思います。

私が子ども達の姿を見て特に嬉しかったことは、「こんにちは～」の挨拶。「こんにちは！」と言
われるたびに、大きな声で挨拶を返していました。その明るく・さわやかな声を聞いたことで、メ
ンバーの方々も気持ちよく演奏できたと思います。また、温かい拍手。演奏や話が終わるたびに、
心を入れて大きな拍手をしていました。なかなか鳴り止まない拍手は、より気合いの入った演奏
につながったのではないかと思います。最後の感想を発表する場面でも、たくさん子ども達
が元気よく手を挙げ、感じたことを自分の言葉で素直に伝えていました。たくさんの方がいるに
も関わらず、堂々と話す子ども達の姿から、「さっきゃま魂に磨きがかかってきたなあ。」と感じ
ることができ、鑑賞会の素晴らしい締めくくりとなりました。

瑞宝太鼓の皆様の演奏
とメッセージから、多く
のことを学ぶことができ
ました。この経験が、子
ども達のこれからの生活に
も良い影響を与えてくれ
ると信じています。



楽しい時間をみんなで共有 ～雨の日の全校遊び～

昨日は久しぶりの雨で、残念ながら運動場で遊ぶことができませんでしたが、昼の放送で「体
育館での全校遊び（ドッジボール）」のお知らせがあると、子
ども達は、張り切って体育館に向かっていきました。体育館
には、「きゃ～」「お～」「やった～」などの大きな声が響きわ
たります。狙いを定めて思いっきりボールを投げる子ども、
必死に逃げ回る子ども、笑顔で遊びを楽しむ子どもを見てい
ると、こちらまで楽しい気分になりました。

どんなに遊びに夢中になっていても、掃除開始の放送が聞
こえると、すぐに遊びをやめ、一目散に掃除の場所に移動して「もくもく掃除」を始めます。

「遊びも一生懸命」「掃除も一生懸命」、メリハリを付けながら学校生活を楽しむ子ども達を見
ながら、「この子ども達のために何ができるかなあ。」と考えます。

これからも、子ども達と一緒に、楽しい時間をたくさん作っていきたいと思います。

